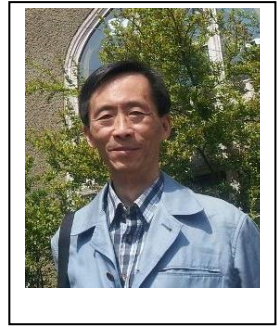


まちの先生講座 講座企画書

講師名 岡野 亘

講師紹介（自己紹介）

日大山口研究室の近代建築の調査研究に加わり、後年「入間市の文化遺産をいかす会」立ち上げ時に会長を務める。



講座名 いるまの近代化、現代への道のり、証を訪ねて

PRポイント（受講を希望する方に分かりやすくご記入ください）

当地の代官でもあった江川太郎左衛門は幕末に何を成したのか。明治となり当地に教会ができ、石川組製糸が操業。鉄道が敷かれ産業革命興り、敗戦により米軍が進駐。その歩みを探ります。

講座内容（教えていただく内容、スケジュール等 具体的にお書きください）

【1回目】

伊豆国韮山を本拠とした世襲代官 36 代江川太郎左衛門英龍。治世地は、武蔵国、相模国、伊豆国、駿河国、伊豆国附島々に及び、その中に黒須、扇町屋、藤沢、新久、中神、小谷田、上谷ヶ貫、宮寺、二本木が含まれていました。ペリー来航という幕末の状況下、海防掛に命じられ、品川台場（お台場）を築造。韮山に大砲を鑄造するための反射炉を築造（世界遺産）。民生・海防の整備で実績を残し「近代化の父」と呼ばれている、江川太郎左衛門英龍に学びます。

【2回目】

明治に入り、石川和助により入間の地にキリスト教が伝えられ、明治 22 年和助の父の受洗により美以教会（現武蔵豊岡教会）が創立。今年礼拝堂献堂 100 年の記念年の年に礼拝堂を訪ね、その設計者基 W. M. ヴォーリズと設計事務所所員、地元職人の業・技の愛のかたちである礼拝堂、その歴史と礼拝堂建築を受けます。

【3回目】

明治 26 年、石川幾太郎により座繰り製糸で石川組製糸工場を創業し、早くも翌年機械製糸に転向。キリスト教精神の基に経営を発展させ最盛期、日本 6 位を記録しました。また石川幾太郎は明治 45 年設立の武蔵野鉄道発起人の一人となり、社長の任にもありました。入間の地を含む地域の近代化、産業革命の歩みを探ります。

【4回目】

昭和13年陸軍航空士官学校が所沢から豊岡に移転開講し、これに伴って陸軍航空士官学校将校・下士官向け家族住宅が建て始められました。敗戦により入間・狭山の地にも連合軍（米軍）が進駐し、陸軍航空士官学校豊岡飛行場は「IRUMAGAWA AIR BASE」となり「JOHNSON AIE BASE」と命名されました。基地の軍人及び様々な職種の職員・従業員のための家族住宅がジョンソン基地の中に建てられ、基地拡大により基地外にも家族住宅が建てられました。通称「米軍ハウス」と呼ばれている住宅は今も残され、こうした時代背景を追いながら、新しいまちの形成を見ていきます。

「ジョウンソントウン」として整備されたタウン内に改修保存されている、陸軍航空士官学校将校・下士官向け家族住宅、米軍ハウスをを歩き見学し、まとめの講座とします。

受講者に持参してもらう物

筆記用具

その他（使用する教材など）

- ※ ホームページに掲載及び受講希望者からの問い合わせ等に使用いたします。
- ※ 掲載可能な写真（ご自分の顔写真や、作品の写真など著作権法に抵触しないもの）がありましたら、ご提供ください。